

平成 20 年 5 月 17 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中齋塾 北関東フォーラム

平成 20 年 第 5 回講話

ブータンに 24 日から 5 月 1 日まで 8 日間、行って参りました。印象は、日本の良き時代に酷似しているのだらうと思いました。理由は、非常に笑顔が良いです。それから清潔感が溢れていましし、親切で世話好きでした。

江戸時代に外国人の宣教師が日本に来て、本国に「日本の国民は素晴らしい。礼儀正しいし識字率も高い。何よりも笑顔がいい」と報告していました。私はそういう文献を読むたびに、本当だろうかと思っていました。しかしブータンに行って納得できました。日本の江戸時代の国民は、こういうものだったのではないかと感じました。

行き交う人々は非常に笑顔で、礼儀正しいし清潔感が溢れていました。緑も多く非常に良い印象を受けました。ブータンは国王が GNH（国民総幸福量）を打ち出して、国民すべてが幸福だと感じる国を目指したいと発信していますが、これも宜なるかなと感じました。

日本人とブータンと人は似ていると聞きましたが、どてらのような着物を着て、顔つきを見ると本当にそっくりでした。印象的な民族衣装でした。この民族衣装はお祭りや公式の行事の際には、必ず身に付けるように法律で決まっているそうで、民族衣装を着ていないと逮捕されるのだそうです。初犯は罰金ですが、2 回目は一週間刑務所に入り、3 回目は 1 ヶ月間刑務所に放り込まれると聞きました。文化を徹底的に国民に守らせるような施策をしていると感じました。

又、外国人でも国内に建物を作る時にも、必ずブータンの民俗を表す模様を書かせているとの事でした。獅子の絵やガルダの絵、龍の絵など、ブータンの独特の模様が、どの家の壁にも書いてありました。物質文明が入ってきた時に、何も対策を講じないと一瞬にして西洋文明に飲み込まれてしまうという危険性を、国王が感じているのではないかと思います。

私が今回ブータンに行った目的は三つありました。

一つは、地球の温暖化が進んで、ブータンが洪水で沈んでしまうのではないかと聞きま

した。ブータンはヒマラヤ山脈の麓にありますから、ヒマラヤ山脈の上の方にある氷河湖が溶けて、湖の水がどーっと麓にめがけて押し寄せると、天から水が降って来て国土が沈んでしまうという危険性をブータンの人々は感じていると聞きました。それは本当かと思って確かめてみたいと思いました。

二つ目は、GNH（国民総幸福量）です。人間の幸せというものは、決してその国の稼ぎ高・数字で換算できるものではない。皆、心の内で＜私は幸せだ＞と思う国民がどれだけいるか。そういう物差しで、世の中を量らなければいけないだろう・・・という事を、ブータンは全世界に向かって発信しました。それをどのように国の中で展開しているのかが知りたいと思いました。

三つ目が、仏教です。国教であるブータン仏教がどれくらい国民の中に浸透しているか、日常生活にどう活かされているか、それが知りたいと思いました。

それぞれの疑問に対するの回答を、私なりに感じました。

まず、仏教について申します。

ガイドをしてくれたブータン人に聞きました。朝昼晩は仏間で礼拝をするそうです。きちんと正座をして深々とお辞儀をしていました。結婚する時に、相手に家の仏壇や仏間が立派かどうか、どれだけ仏壇を大切にしているかで、結婚の判断をするのだそうです。先祖を大事にしない人は結婚などできないという感覚が、非常に根深く染み込んでいると感じました。国王のオフィスという所に行きましたが、同じ敷地にブータン仏教の総本山がありました。国会のような場所を案内されると、国王の机と大僧正の机が並んでいました。宗教と政治・行政が完全に一体化していました。

なおかつブータンでは、死んだ後に生まれ変わるという事を心の底から信じていると感じました。しかも生まれ変わるのが人間だけに限らずに、魂が草花に宿り、草を食べた牛に宿る・・・こういう感覚が、ごく普通の日常会話に出てきました。

とにかくブータンでは仏教が完全に根付いている国だと分かりました。日本人の仏教感とブータン人の仏教感は相当違うと思いますが、先祖を大事にする心はいいなと思いました。

温暖化に関して申します。

日本にいる時には国土は沈むと聞いていましたが、行ってみると国土は沈まないと分かりました。日本の場合も火山の爆発や地震があって被害が沢山出ても、国土や国民がなくなるという事はありません。

ヒマラヤ山脈に氷河湖がいくつかあって、それが決壊して水が下に押し寄せて来る。一つの村や町が洪水にあって、相当な被害を受けた事が過去の歴史にかなりあります。現実にもそういう危険性も強いという事はありますが、国がすべて沈むことはない。大きな谷が至る所にあるから、水がそこに吸い込まれていくわけです。

現実に戻って見たプナカ・ゾンという所では、氷河湖が決壊して、お城が半分くらいまで浸水し、住民の方も亡くなられたそうです。ただし、国土全部が沈むことはないと確認できました。やはり現地に行ってみないと分からないと感じました。

GNHについて申します。

GNH（国民総幸福量）は、4代目の国王が青年時代に考え発表したものだそうです。

「世界の潮流はどれだけお金を稼いだか、どれだけ儲かったか・・・お金・お金の世界だ。しかし沢山お金を持っていて幸せである筈なのに、不幸な顔をしている人達が多い。どこがおかしいのではないか。ブータンは貧しい国で、お金はそれほど稼いでいないけれども、皆ニコニコして幸せな顔をしている。その国を判断する基準は、如何に稼いだか（GNP）ではなく、如何に幸せかで判断すべきではないか・・・」こういう事を国連で発表したと云います。

国連でそれを受け止めて、<世の中の物差しはお金だけではない>という考え方が広がって、それが世界に発信されていったわけです。日本でも、日本ブータン友好協会が出来ていて、そこでも一所懸命発信しているようです。小さな国の言った事だと片付けられないで、その通りだと思った人達が世界各地に生まれて、じわじわ広がって行ったようです。ただ数値化は出来ていない。数値化する為の努力を今、しているという事でした。

具体的な活動は若干しかありませんでした。国連の中でもそのための専門機関はないようです。数値化するといっても、ブータンの国の中でそういう法整備をし始めたところですよ。ですからまだまだ漠然としたもので、「幸せって心の中にありますよね・・・」というような段階みたいです。確たるものではありませんでした。

これから世界各国はその命題をどうするか、そういうスタートに着いた時期だと思います。

では恒例の質問を致します。

「昨日一日、嘘をつかなかつたと胸を張って手を挙げられる方はおられますか」

（・・・多数手が挙がる。）

相手の為についた嘘は、爽やかな気分が残ります。自分の私利私欲でついた嘘は、後ろ

めたい気分が残ります。

次の質問です。昨夜眠る時に「今日は一日良かったな。満足したと思って眠った方、どれくらいおられますか？」

・・・ちょっと減りましたね。

どうぞ眠る時にそう思って戴くとよい。尚且つ、眠りに落ちる瞬間に、自分がやりたい事が出来て嬉しいと思って眠ると、必ずそれが達成できます。ポイントは眠りに落ちる瞬間です。

もう一つお聞きします。

「先月のフォーラムから今日までの約一ヶ月間で、目先の欲につられて動いたかどうか？」

「利によりて行なえば、怨み多し」の解釈で、安岡正篤先生は「怨み」は厄介事が起きると解釈しています。大変面倒な、処理しにくい事が起きてくるとして下さい。目先の欲につられて動かないようにして下さい。

このフォーラムは陽明学がベースでございますので、陽明学についてもう一度おさらい致します。陽明学は志を大事にします。一生の間に自分はどのような事を為すか。自分自身はどのような人間になろうと思っているのか。それを自問自答して、<私はこういう人間になりたい> <こういう事で世の中の為に尽くしたい> という志が肝心です。志を持っていない人は、悲しい寂しい生活になるような気がします。志を持つと、それが本物になればなるほど心の奥深い所からやる気が湧いて来て、それがいっぱいになって溢れた時には必ず行動に移る原理原則があります。私がブータンに行ったのも、温暖化現象によって国土が荒廃する国の現実を見たいという気持ちがムラムラと湧き上がって、その結果出掛けたわけです。何かをしたいという志が高まれば高まるほど、必ず行動に移ります。そのようにお考え下さい。

そして行動している中で物事の道理が分からなくなった場合は、抜本塞源論を読み直しして下さい。抜本塞源論とは自分のスタート地点に返って考えてみようという事です。自分の今やっている仕事を、どういう動機で取り組んだのか。最初はどのような気持ちだったのかを考えてみると、迷った事・困った事の解決策が、すっと出て来ます。世の為・人の為という考え方は、皆さん大概心の中にお持ちです。そして両親や家族の存在を考えると、<自分だけが・・・> という我利我利の気持ちが消えてくる。そういう人生になっていくと思います。

会社が順調にいかなくなる、或いは日本の国の行政が悪くなってきている、これらは何

故なのだろうと考えて源を尋ねていけば、大概解決策が出てきます。

そういう意味でブータンへ行った事は、非常に良かったと思っています。何故ならば、日本の古き良き時代がここにあったなという実感が湧き起ったからです。

今の世の中、非常に気になる事があります。何故これほどまでに行政が悪くなったのか。何故政治家はこれだけ落ちてしまったのか。値上り値上りで、日常生活の実感はマスコミの報道とは違っています。特にそれを象徴しているものは後期高齢者医療保険制度です。この制度に賛成している人、反対している人は、それぞれどれくらいいるのでしょうか。制度の考え方は日本の国にとって必要なものだと、私も思います。ただ、出し方が良くない。おそらく国民の知恵の集め方が悪いのだと思います。ですから私どもはこの中斎塾フォーラムの中で色々と話をしてディスカッションし、ひとつの声にして行政に届ける。そして日本の国の中に、良かれと思う仕組みを作るような動きにしていきたいと考えています。

本日の心に残る言葉に参ります。

金子みすゞさんの詩です。

人はお墓へはいります。暗いさみしいあの墓へ。

そしていい子は翅が生え、天使になって飛べるのよ。

『金子みすゞ童謡集』角川春樹事務所

「いい子」が知足を表していると思います。皆さんはご自分が死んだ後、いい子になって翅が生えて飛んでいくようなイメージが湧きますか。この詩には金子みすゞさんの、親としての情愛を感じます。今の人達に足りないのは、親の情愛・慈しみだと思うので、色々な所で幸せの種を探してみると、至る所にあると思います。

私は中斎塾は幸せの種探し、陽明学は幸せの種を探す上において行動重視ですから、非常に見つけるスピードが早いし、到達するのも早いと思っています。

では、本日のテーマに参ります。

温故知新師・・・古きを温(たず)ねて新しきを知る。以て師たるべし

これはリーダーの条件です。

先日シムックスの若手を集めた勉強会で、シムックスの社長になるための条件、その判断基準を5つ申しました。同時に、世間一般でトップと言われる人達の共通項5つも説明

致しました。同じトップの条件でも、一つの会社だけに通じる条件と世間一般のトップの条件ではかなり違います。そのベースになるのは温故知新師です。それともう一つ、先月のテーマ「民は由らしむ可し 之を知らしむ可からず」という言葉も、トップとしてお持ちになると良い知識であると感じます。

シムックスの社長になるための条件を申します。

1．会社の歴史を読み

シムックスを創ってから 33 年になります。30 年も経つと、昔の話は分からなくなります。ですからシムックスの社長になる場合は、会社の歴史を知っておく必要があります。どうやって会社を創ったか、その間にどんな事件があってどう解決していったか、私がどういう事を考えてきたか・・・これについては創業からずっと「社長の独り言」というものを書いていますので、それを読むように言っています。

2．修羅場を経験せよ

シムックスの社長になると、命を懸けて揉め事を解決する現場に遭遇します。生きるか死ぬかの現場に立ち会わなければ、人間は去皮剥けません。お金を回収するのに夜討ち朝駆けは当たり前ですし、命をはってお金を回収してくる事も当然起きますでしょう。修羅場を経験しない人間は、社長の資格がないと言いました。

3．道場の味を知れ

私が後継者に指名できるかどうかを見る一つには、道場でどれほど真剣になって練習するかです。上っ面だけで稽古したのでは上達しません。上っ面の稽古をする人間は、お客様にも上っ面だけの対応しかしません。道場で汗を流して真剣に努力している姿を、私が認めなければ話になりません。ですから道場で汗を流す経験を持ってと言っています。

4．墓参りをしろ

自分の先祖のお墓参りは当然ですが、シムックスの社長は、かつて安中市のプールで水難事故があって亡くなられた子供さんのお墓参りを続けています。20 年前、事故の知らせを聞いた瞬間に、私はとんで行きました。ご遺体に、50 年間はお墓参りをすると決めて手を合わせました。それ以来社長職にある者は、毎年お墓参りを続けています。

水死した子供さんのお墓に行ってお墓の掃除をする事によって、命の重さを身体で味わう為です。事故の責任は警備会社にも安中市にもないという結論が出ましたが、誰が良い

悪いではなく、小さい子の命が亡くなったという重みを私は受け止めて、お墓参りを続けています。

当時は群馬県内の各市の公営プールで外注している所は、すべてシムックスが警備をしていました。近隣の熊谷市や本庄市、行田市のプールもやっていました。この事故があって、もう二度と小さい子が死ぬのを見たくないと思って、物理的に子供さんが死なないようにする為の警備の提案書を作って各市町村に持って行きました。市町村の担当者は、値上げ交渉だと受け止めた所も多くありました。そういう所は警備を降りました。仕事上は翌年 90%以上も減って大打撃でしたが、自分で腹をくくって対処していました。

お墓参りをする事によって、死なせてはならないという事と、死なせない為にどうするか知恵を絞れという事を、真剣に身体に染み込ませるようにしています。ですからお墓参りをした事のない人間は、社長になる資格はないと決めています。

5 . 三つの自戒

何度も申し上げていますが、会社創業時の三つの自戒です。「会社は潰れて当たり前です。それには兆候が出ます。社長が三つの行動をとったら、会社は危ないから辞めてもらって結構です」と社員の方々に言いました。

一つは、分不相応な事をしたら社長の資格はないと言いました。30 年前は外車に乗り回していると格好良く見えましたから、私が外車を乗り回したら危ないと思って結構だと言いましたが、今は社員の中にも外車に乗っている人もいます。とにかく分不相応な者はいけません。二つ目は、社長と三日間連絡がとれなくなったら危ないと思えと言いました。三つ目は、社長が二号さんを困ったら危ないと言いました。

この三つの行動のうち、一つでも触れたら社長の資格はないという事です。

次に世間一般のトップの共通項を申します。先日伺った、イオンの株主総会に出たばかりなので、その印象も交えながら申します。

1 . 哲学

イオンさんは開かれた株主総会を標榜しています。先日行ってきましたら、3000 人程の株主が集っていました。もろに伝わってきたのは、株主とは正常な判断をするなという思いでした。目立ったのは、若いお母さん方と年配のご夫婦が多かった事です。総会屋らしき人達もいましたが、広いホールでしたし、大勢の一般のお母さん方の拍手にかき消されて、怒号が若干飛び交いましたがさほどのものではありませんでした。本当に開かれた株主総会だと感じました。

どうしてこういう総会ができたかと云うと、やはり経営哲学がベースにあると思います。イオンは今年創業 250 年だそうです。たいしたものだと思います。ただ世界全体の潮の目は変わりました。大きい事は良い事だという時代は終わっています。儲けることは良い事だというのも終わっています。その潮の目を読んだ会社が生き残り、世の中の役に立っていくのだろうと思います。そのベースになるのは経営哲学です。

生き残っていくトップの共通項は、哲学があるかないかだと思います。それは創業者の人生哲学がありやなしやに尽きる。自分の人生如何に生きるか、その問いに対して真剣に答えて、真剣に努力していく。人生哲学が経営哲学に発展しているかどうか、更にその経営哲学を仕組みとして会社の中に定着させたかどうか。それをトップが次々に体現しているかどうかです。これが生き残り大きくなっていく企業の、トップの条件です。

ちなみに松下幸之助さんが出した経営哲学（水道哲学）は、後継者によって廃棄されています。しかしベースにある哲学は変わらない。今年社名を変えますね。日本での売り上げと外国での売り上げが逆転したからです。時代の流れによって、創業者の哲学をしっかりと心に受け止めた人は、表面に見えるものも変えていくのだと思います。肝心なのはしっかり経営哲学が受け継がれるかどうかです。決して字面に出ている経営哲学ではなく、心の中にしっかり埋め込まれている経営哲学を継承したかどうかだと思います。

2. 判断基準

人生哲学がしっかりしていると、判断基準が身に付いてきます。大変な大動乱の時に、どういう行動をその企業はとるか。トップがどう判断するか、判断基準を持っているかどうかです。

ちなみに私の判断基準は、判断の三原則です。本質・大局・歴史の三点で見て判断し、決断し、行動すると申しています。判断基準が明確にある方は、座右の銘を持っています。座右の銘となる判断基準を、トップが身体の中に染み込ませているかどうか、これが肝心です。

3. 実行力

知識・見識・胆識という言葉がありますが、肝が据わっているかどうか、腹構えがどうかという事です。こうしたい、ああしたいと思う。例えば今回の四川大地震やミャンマーのサイクロン被害に対して寄付をしたいと思う。本当に罹災した人に届くにはどうしたらよいか、そこまで考えてすべきだと思います。それには実行力が必要です。国連が支援する際には、現実に罹災した人に届くかどうかを監視する監視団を一緒に送ります。そ

うしなければ安心して支援ができない、世界の現実があります。そのあたりを踏まえて実行力、こうしようと決めて実行する時に、実行させる為の担保が要ります。

4．出処進退

知らない事でも、社内で起きたものであればトップは責任を取るべきです。船場吉兆は言語道断です。トップは惜しまれて辞めるものだと思います。出処進退の基準を自分で持ち、鮮やかに退任をすべきです。

5．プラス思考

とんでもないことが起きても、“これは自分を鍛えてくれているのだ”“この問題を解決すれば、素晴らしい未来が開けている”と、常に前向きな考え方で受け止めることです。

師たるものは、すべて前向きに過去の出来事を調べて、現在に当てはめて、良いと思う事を実行していく。トップとしての共通項5つが、皆必要だと思います。

以上で本日の北関東フォーラムを終了致します。有難うございました。